

シマノ 神奈川マダイ放流支援

を寄付した。

協力金制度を開始してからの寄付金総額に占める同社の割合は21%を上回っているという。

（株）シマノ（島野谷三社長）では、マダイ資源の維持・増大に協力するため、（公財）神奈川県栽培漁業協会が取り組んでいるマダイ種苗の生産・放流事業に寄付を続け、平成13年から昨年までの15年間で総額1890万円の寄付を行った。

これは、同協会が発行

事業を展開している企業

している「さいばいニュース」の最新号（2017年1月1日付）で紹介

なので」と寄付を続け、平成28年度も100万円

されたもの。それによると、同協会は平成13年度から「マダイ遊漁者協力金」制度をスタートさせたが、同社は初年度から趣旨に賛同。「マダイを

はじめとした釣りに係る